投稿作品集

風の会ホームページの掲示板などで投稿頂いた作品です
ありがとう、皆さんの作品・・・

詩

＊「ありがたい」の毎日
自分のことは
自分でやるものだ
年を取ったら
しんどいものだ
子供は言うことを
聞かないものだ
何でも思い通りには
ならないものだ
そんなふうに思ったら
不平不満もなくなって
「ありがたい」
ありがたい」の毎日

風香さん
http://www.xxxxxxx.co.jp/~xxxxxxx/xxxxxxx.html

川柳

☆ 地球にも 使用期限が やがて来る
☆ 移行する テレビおたくが パソコンへ
☆ 良心の 内部告発 勇気いる
☆ 大貯金 精もつた中味 ストレスよ
☆ 秋なのに 夏風邪を引く 汗たらら

堺市夢身頃さん
http://www.xxxxxxxx.ne.jp/~xxxxx/

☆ 暴力団まで駆けつけるVセール
☆ タマちゃんが調べて回る酸素量
☆ 老人は自分以外のお年より
☆ アメリカが枢軸となる温暖化
☆ 腹が立つ電気は買わぬとも言えず

鷹鷲鳥騒さん
http://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx/~xxxxxx/

風香さんのお嬢さんの
みいむ小とインコの
キャンディ

今月の楽笑語録 能ある鷹は爪のぼす

写真くらぶの作品／メンバー募集中！投稿お待ちしております

木漏れ日／宮本義夫さん

港の夕焼け／小池喜四雄さん

厳島神社／鈴木碧二さん

陽だまりの午後／Kevinさん

♪アミーゴ♪ チカ これぞ、癒しの音楽療法

↑手前真中がチカさん
コンサートの後、みんなに囲まれて・・・

風の会スタッフ 一同

先月24日午後、メキシコ音楽奏者アルバーソ・チカさんの「ありがとう演奏会」が開かれました。

会場となったのは大阪市淀川区にある市立十三市民病院の家族待合室で入院中の患者や看護婦、友人ら約30人が「その名はフジヤマ」「林檎の木の下で」など甘い歌声に聞き入りました。

9月はじめに検査入院、即手術となったチカさんの予後は順調で今月はじめには退院の予定です。

「3日間も手を動かさないとためになる」と、手術直後から愛用のギターをはなさなかったチカさん。ベッドでひそかにギターを弾いていたところ、「まるで癒しの音楽みたい。皆さんにも聴いてもらって元気になりましょうね」と看護士さんたちに励まされて実現したようです。

元気になって、また素敵な歌声を聞かせてくださいね。

勇気ずけられた言葉

神戸松蔭短期大学非常勤講師
山田 せつ子さん

立派な？高齢者でありますが私は健康でありたいという願いも含めていつも自分の生と死を考えながら心もとない生活をしております。

それがなブッツンと切れました。ルンルンです。生きるのが楽になりました。

それはある方の“ご縁で十よ”という一言です。その時、私は“あ～そうか・・生も死も病も全部縁なのだとはっきりと悟ったのです。

その方はチカさんとおっしゃる方です。

神戸淡路大震災で理美容店を失いはさみをギターに持ち替えて以前からの“好きな道”ラテン音楽”に連まれた方です。先日のコンサートでのことです。

進行役の方が“何か独自な健康法はおありですか？”と質問されました。

するとどうでしょう。“別に何も。全部ご縁ですよ。”と涼しげに答えられました。

びっくり致しました。そしてこの一言は私を勇気ずけてくれました。

私は“縁”という言葉を益々好きになりました。

これからは縁をキーワードで生きていきたいと、今考え始めております。

若狭谷さんの
南半球一周船旅日誌

不思議の国、ブルネイ

第二寄港地

文 風の会会員 若狭谷 好一さん

1月2日早朝ブルネイのムアラ港に到着。日本人観光客の訪れることの少ない国だが、東南アジアで一番の評判をもつ巨大遊園地ジェルドンパークは有名。

ブルネイは、カリマンタン島（ボルネオ島）北部の一角で、マングローブが繁茂する熱帯雨林帯で国土面積は千葉県位。人口は約34万人。マレー人70%、華僑15%。イスラム王国で、70%がイスラム教徒。

1888年にイギリスの保護領となって以来、1984年独立を果たすまでの間、第二次大戦中日本の支配下となった、時期を除き一世紀に亘ってイギリス植民地時代が続く。

1926年に発見された油田のお陰で王サルタンは1987年以来ビルゲイツに抜かれるまでは世界一の富豪であり続けた。原油輸出の大半は日本向け。

夢のような暮らし

税金というものが無く、医療、教育、スポーツ施設等は一切無料。住宅ローンも無利子。車の購入には補助金が支給され、一家に2～3台保有が普通。夢の様な国だ。但し、イスラムの戒律により酒類の販売は禁止されており飲兵衛には一寸住み辛いかも？ 尤も、隣国のマレーシア迄車で一時間も走れば、ビールでも何でも入手出来るので困らないとか。

水上の暮らしを愛する人々

河口の水上に浮かぶ大集落が旧市街。数世紀前から存続し、現在でも約3万人が住む。板を張り合わせた小道の両側に軒を連ねる家々は、外観は素朴でも中は意外に広く、テレビ、エアコン等家電製品完備という。学校や病院もある。モーターボートの水上タクシーが住民の手軽な交通機関である。

世界でも指折りのお金持ちの国には似合わない風景である。陸地への移住を奨励する政府の提案も、ずっと拒否され続けているのだとか・・

住めばみやこか？

次の寄港地はシンガポール